



2025年度 市政懇談会 <町田第一地区町内会・自治会連合会>

次 第

[日時] 2025年10月1日(水) 18:30 ~ 20:00
[場所] 文学館 大会議室

司会進行：市民部長 横山 法子

町田第一地区町内会・自治会連合会

副会長 熊坂 恵司

○ 連合会長の挨拶

町田第一地区町内会・自治会連合会 会長 平本 勝哉

○ 市長の挨拶

町田市長 石阪 丈一

○ 職員の紹介

○ 市政懇談会について

第1部 地域の議題に関する意見交換

1 原町田1丁目市営駐車場閉鎖に伴う通学路等歩行者通路について

【経済観光部】

2 中心市街地の防犯対策について

【防災安全部】

3 中心市街地と芹ヶ谷公園の回遊性について

【道路部】 【都市づくり部】

4 せりがや会館の跡地計画について

【政策経営部】

第2部 市政全般に関する意見交換

市長からの市政報告

○ 閉会の挨拶

閉会挨拶 町田第一地区町内会・自治会連合会 副会長 熊坂 恵司

2025年度 町田第一地区町内会・自治会連合会 市政懇談会 議事録

[日 時] 2025年10月1日（水）18：30～20：00

[場 所] 文学館 大会議室

[出席者] 町田市長 石阪丈一

政策経営部長 唐澤祐一

防災安全部長 大貫一夫

経済観光部長 塩澤直崇

道路部長 深澤香織

都市づくり部中心市街地・モノレール推進担当部長 萩野功一

市民部長 横山法子

町田第一地区町内会・自治会連合会長 ほか12名

事務局 市民部市民協働推進課 5名

司会進行：市民部長

町田第一地区町内会・自治会連合副会長

○連合会長の挨拶

○市長の挨拶

○職員の紹介

○市政懇談会について

第1部 地域の議題に関する意見交換

1 原町田1丁目市営駐車場閉鎖に伴う通学路等歩行者通路について

市営原町田1丁目駐車場の閉鎖により、特に原町田1丁目では横浜線を挟んだ原町田6丁目・4丁目側へのアクセスや通学路の安全の確保等不安を抱いております。遠回りな通学路が予想されます。また、通学時や商店街へのアクセスも利便性の確保が求められます。信号機や防犯カメラの設置や第二駐車場の改修等の検討を要望します。通路の安全確保・解体工事の予定・解体後の計画等について教えてください。

【回答】

経済観光部長

原町田一丁目市営駐車場は、1980年4月に供用を開始し、40年以上が経過しており、施設の老朽化が深刻であることから、駐車場施設としての継続利用が困難な状況です。

このため、利用者等の安全性を確保するため、駐車場が2026年1月15日、駐輪場が2025年12月31日をもって営業を終了します。営業終了後は、建物外周をフェンスで囲う工事を行います。

まず、原町田六丁目・四丁目側へのアクセスや通学路の安全確保、利便性の確保についてお答えいたします。

今回、駐車場建物は閉鎖しますが、原町田六丁目・四丁目側へのアクセスとして利用している「原町田自由通路」、JR町田駅のターミナル改札口から、南方向に、線路を渡る通路は引き続き通行可能で、現在、その自由通路へのアクセス方法を調整中です。

具体的には、資料の黄色の矢印が現在の動線で、右上の写真のように、建物の下を通る箇所の天井を、補強板で補強する安全対策を講じるため、現在4m程度ある通路が、一番狭いところで1.4mと狭くはなりますが、基本的には、現在の動線と変わらず利用いただける予定です。

また、駐車場エレベーターにつきましては、利用できなくなるため、お隣のガレリア町田ビルのエレベーターを利用できるよう、ビル所有者の了解をいただきましたので、そちらの利用をご案内いたします。

通学路という点につきましても、8月27日に町田第二小学校に伺い、情報提供させていただきました。今後も継続的に情報提供をさせていただき、意見交換を重ねていくこととしております。

工事の予定や歩行動線など、詳細が決まりましたら、現地での案内の掲示や、町内会・自治会、商店会や学校等を通じお知らせいたします。

次に、信号機や防犯カメラの設置という点でございますが、信号機の設置については、10年ほど前になりますが、同様の要望をいただいており、当時は、所管の町田警察から、カーブによって信号機灯具の視認性が確保できないため、難しいと回答を受けました。

今回、9月1日に、改めて町田警察署に信号機の設置要望を申し伝えたところ、9月26日に「設置は難しい」との回答を受けました。

当該エリアでは、再開発に向けた検討を進めており、その上で歩行者の安全対策についても、検討していきます。

また、フェンス設置後の駐車場敷地内の通路には、防犯カメラの設置や、照明を設置し、明るい環境を整えることで、安全の確保を行ってまいります。

3点目に、第二駐車場の改修等の検討について、要望をいただいたところではございますが、第二駐車場は借地、地権者からお借りしている土地で、

今年の12月31日で、地権者に土地を返却いたします。このため、この土地について、市では改修等の検討は行えません。

最後に、解体工事の予定、解体後の計画でございますが、今回の駐車場の閉鎖は、施設の老朽化に対して、利用者の安全を第一に考えた対応でございます。

現在、駐車場の建て替えを含め、再開発に向けた検討についてJR東日本など地権者と協議を進めております。そのため、駐車場の建物は、すぐには解体せず、そのまま維持する予定としております。

今後も、町内会・自治会の皆様や商店会や学校等に、継続的に情報提供を行い、意見交換を行ってまいります。

《質疑》

原町田一丁目町内会

この問題について非常に切実な問題ということで町内会では論議しています。子ども会のお母さんたちも、いろいろな通学路の問題、資料を作り、こうしたらどうかという意見を大分私も聞きまして、この要望を地区連合会長等にお話しして、いい方向ということで、ある程度私の期待した方向になりつつあると感じております。

ただ、今後ともお子さんのための問題であるか、この前に掲示板があつて、この間、私が掲示板に貼っているときに、障がいを持たれた車椅子の方が偶然来られて、電動車椅子で今までの駐車場のエレベーターに乗ってスムーズに行かれたが、今度、隣のビルのエレベーターを使わざるを得ないとなると、その扉はかなり重たい扉で、電動車椅子の方が移動しながら、その扉を開けて車椅子でエレベーターに乗るのは非常に厳しいかなと。もっと駅寄りの地下のほうは通れないから、そこの向こうのエレベーターか、もしくは橋のほうまで行かなければならぬのか。

よく我々は論議をするのですが、一丁目は原町田でも線路で孤立した町なのだというのが諸先輩たちから何度も出てきます。ただ、原町田地区の皆さん、それから中町も含めていろいろコミュニケーションを取るために、そういったギャップをぜひとも排除していくきたいと思っております。中には都道にも、高齢者が通るように手すりを造ってほしいとか、いろいろ要望があります。この辺は市の行政を越えてしまうかもしれません、今、原町田一丁目に東京都の防水の施設はあるけれども、その他の大きい施設は、町田駅というのはまさしく一丁目なのです。それに対して我々は常に町田の中心であるという自負があると思うのですが、実際は孤立した町、この辺を何とか解決したいというのが本音であります。そういう意味では今後ともいろいろご意見をお願いするかもしれません、その辺、特に弱者に対しては十二分に配慮していただければありがたいと思います。少子・高齢化が一丁目は特に進んでいます

ので、よろしくお願ひいたします。

2 中心市街地の防犯対策について

原町田の中心市街地は、古くから商店街が形成され、大いに賑わっております。それだけ来街者も多く犯罪も多く発生いたします。駅周辺は防犯カメラも設置され抑止効果も大きいと思いますが、少し外れると防犯カメラの設置も少なく、最近の凶悪な犯罪報道もあり、住民は不安な日々を送っております。原町田地区の商店街・住宅地における市の防犯対策について教えてください。

【回答】

防災安全部長

原町田地区における刑法犯認知件数の推移について、2020年から2024年の5年間における原町田地区の刑法犯認知件数の平均は434件で、地区ごとで見ると市内でトップの認知件数となっています。

特に町田一番街や町田二番街商店会、町田パークアベニュー商店会などがある原町田六丁目、原町田四丁目商店会、町田ターミナルロード商店会などがある原町田四丁目、原町田一丁目自転車駐輪場などがある原町田一丁目で刑法犯認知件数が多くなっています。

原町田地区の街頭防犯カメラについて、原町田地区は、市内でも刑法犯認知件数が多い地区であることから、市では当該地区を「安全安心まちづくり推進地区」に指定し、地区内の町内会や自治会などが街頭防犯カメラを設置する場合は、その費用の一部を補助しています。

現在、原町田地区には、市が設置費用の一部を補助し、町内会・自治会・商店会が協働して管理運営する防犯カメラが商店会区域を中心に59台稼働しています。

中心市街地の客引き対策について、市では、町田市中央地区商業振興対策協議会や町田第一地区町内会・自治会連合会の代表者などで構成する「町田駅周辺治安対策連携会議」を2023年12月に設け、当該地区における客引き等の対策について検討を重ねています。

2024年度は、「客引き行為の禁止や客引きを利用しない」ことを訴える黄色の電柱幕を地区内で掲示するとともに、同様な内容を訴えるポスターを中心協加盟の店舗に掲示していただきました。

客引き行為等の規制を目的とした法令として、風営法や東京都の迷惑防止条例があります。この風営法や迷惑防止条例で規制できない部分を規制するため、武蔵野市、八王子市、国分寺市、立川市の4市が独自の条例を設けています。市独自の条例を制定した効果については、条例を制定したからといって客引き行為等を行う者は、なかなか減らないと聞いております。

引き続き、町田駅周辺における客引き等の状況を踏まえた、行政と地域の

協働による、より効果的なパトロールの実施や客引き等防止に関する、啓発方法、市独自の客引き行為等の規制に関する条例の必要性などについて検討してまいります。

《質疑》

原町田五丁目町内会

今、客引きの話があったのですが、たしかこの会場で2年ぐらい前に私も質問させていただいたと思ってています。客引きが実は昼間からいるのです。常識的に考えれば、夜の8時過ぎだったらいてもいいと思うのですけれども、昼間からいることが問題だと僕は思っています。私は駅から7分ぐらいのところに住んでいるのですが、近くに住んでいる人が、子どもさんが学習塾から帰ってくるのに、夜8時ぐらい、そのときに怖くて困っている、親が迎えに行っているという状況だそうです。そういうことから考えて、客引きについては、立川市は多分2年ぐらい前にいろいろ条例をつくられたのではないかと思いますが、町田市もその辺をきちんと検討していただけたらなと思っています。

私が思っているのは、客引きが昼間からいるということは、町田にパチンコ屋とかゲームセンターが多過ぎるからだと思います。パチンコ屋も、つい半年ぐらい前まで5軒あったのです。今は1軒が薬局になっていますが、本当の町の中心地です。僕もよく分からなかったのですが、長崎屋の跡とか横浜銀行の跡というのは、もともと何があったかというのが分かっていたからなのですが、それ以外に中心地に2か所あるのです。たしかゲームセンターと一緒にあります。だから、まず、そういう対策をやらないと僕はダメだと思います。

先ほど風俗営業法の話があったと思います。町田市も風俗営業法の条例がありますが、それは非常に問題があるものを規制しているだけの条例です。パチンコ屋もたしか風俗営業法にかかるはずです。ですから、その辺をきちんと検討していただかないと、絶対にいい町にならないと思います。たまたま今日、防犯対策ということで書いてありましたけれども、防犯対策以前の問題です。要は、この町がどうやってできているかということをよく考えてもらいたいと思うのです。40年か50年前、横浜の黄金町というのはひどい町だったのです。僕は行ったことがないから分からないのですが、それが今ではテレビで取り上げられるくらいきれいな町になっていると聞いています。多分横浜市が町をきれいにするために一生懸命やったのだと思うのです。町田よりよっぽどひどかったから、しようがないのだと思うのですけれども、町田も西の歌舞伎町と言われているのです。その辺を市も理解していただいて、黄金町が変わったように変われるような町にしていただけたらいいのではないかと思っています。どうも今日はありがとうございました。

防災安全部長

ありがとうございます。いい町にしていきたいと思っています。2023年12月に会議体を発足した後、3月に立川市に行かせていただいて、どのような形で整備ができますかというお話を聞かせていただきながら、多分2年前も同様の話をしていると思うのですが、そういう形でそれが一番よくて、どのようなやり方が皆さんにとって町が明るく生活しやすいものになるか、もう少し考えさせていただきながら、一つの市だけでなく、いろいろな市も歩き回って、そのものを踏まえた上で今後検討ができればと思っています。

あと日中については、警察にもお話をします。パトロールという形で歩いてもらえば、パチンコ屋等いろいろな方がいると思いますが、パトロールを強化するようにお話はしていきたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。

3 中心市街地と芹ヶ谷の回遊性について

町田市で一番賑わいのある中心市街地（商店街）とそこに極めて近い自然豊かな芹ヶ谷公園との回遊性については、以前より町田市の魅力を増進させる為にも推進すべきと言われております。文学館通りは一方通行になり、歩道拡幅工事・電柱地下埋も予定されています。原町田大通りの延伸も計画されておりますが、進捗状況と回遊性の推進をどのように図るか教えてください。

【回答】

道路部長

議題3の「中心市街地と芹ヶ谷公園の回遊性について」の原町田大通り（都市計画道路3・4・11号）の進捗についてお答えします。

本事業は、町田街道から芹ヶ谷公園北東の町田市道南542号線（都市計画道路3・3・36号線）までの延長約520m、幅員25～41mで、そのうち、芹ヶ谷公園横断部の約140mは橋梁となる計画です。

2022年度（2023年3月24日）の土地所有者の皆様を対象に開催した用地説明会後、事業に着手し本格的に用地取得を開始いたしました。

2023年度は、土地や建物をお持ちの方を対象に、個別の説明会を5回開催し、補償費を算定するため物件調査を実施、折衝を進めてまいりました。

2024年度から徐々に契約をさせていただいており、2025年8月末現在の用地取得率は、面積比で10.9%となっております。引き続き、工事着手に向け用地取得を進めてまいります。

また、設計については、道路及び芹ヶ谷公園の上空に架かる橋梁の設計を進めています。

今後は、本路線と交差する町田市道南542号線（都市計画道路3・3・36号）の計画高さについて東京都と協議を行い、橋梁設計の深度化を図っていく予定でございます。

文学館通り（町田37号線）の歩道拡幅、無電柱化工事の進捗状況について、回答いたします。

本事業は、町田街道から原町田中央通りまでの延長約290m区間で、歩道を1.5mから2.5mに広げ、車道を6.5mから4.5mへと狭め現道幅員内で無電柱化する計画です。

事業着手に伴い、2025年8月1日より、町田街道からJR町田駅に向けて一方通行化が開始となりました。

今年度は、無電柱化事業に伴い、支障となる埋設物等の移設工事を行います。

2026年度からは、歩道拡幅工事と無電柱化工事をJR町田駅側から進めていく予定となっており、2030年度末の完成を目指しております。

中心市街地・モノレール推進担当部長

「回遊性の推進をどのように図るか」について、回答いたします。

文学館通りの歩道拡幅、原町田大通りの延伸は、中心市街地と芹ヶ谷公園間の回遊性を高めることが整備目的の一つでございます。

それ以外の町田市が行っている具体的な取組として、原町田大通りでは、駅前交流拠点はっとまちだの開設や滞留空間はっとテラスの整備、原町田中央通りでは、無電柱化工事と併せた沿道空間の活用を図るための社会実験「ウィークエンドストリート」を実施し、多くの方が街なかで滞在して回遊するための取組を進めています。

また、本年3月から4月にかけて、町田駅周辺の施設やイベントなどをより多くの方に楽しんでいただくために、様々な施設や店舗、イベントをめぐるスタンプラリーを通じて、中心市街地の魅力に触れていただく「ぐるっとまちなかスタンプラリー」を開催いたしました。

今後も、（仮称）国際工芸美術館の新設、芹ヶ谷公園の再整備、そして、町田駅周辺の再開発などによって、中心市街地全体の魅力向上を図り、回遊性が高まるよう努めてまいります。

《質疑》

（司会）地区連合副会長

地元でも、観光コンベンション協会と地区協議会の協力を得て、文学館通りを考える会が芹ヶ谷界隈という回遊性向上のためのマップを作り、回遊性については、目に見えるいろいろな道路がきれいになってくるので、ソフト事業へもこれからも力を入れていただければと思いますので、よろしくお願ひいたします。どうもありがとうございました。

4 せりがや会館の跡地計画について

原町田4丁目のせりがや会館は入居団体等の明け渡しの計画が進んでいま

す。その後の計画を教えてください。

【回答】

政策経営部長

町田市せりがや会館は、建物の老朽化に伴い、2026年度末に閉館いたします。

その後、まず、建物については、速やかに解体いたします。

次に、解体後の跡地につきましては、今後予定しております町田第二小学校建て替えの際に、建設用地として活用いたします。また、建て替え工事の着工までは、おおむね15年程度を想定しております。

それまでの間は、暫定的に利用いたします。暫定利用の方法につきましては、今後、民間事業者等への土地の貸付けも含め、幅広く検討してまいります。

《質疑》

(司会) 地区連合副会長

私ども四丁目第二町会は、実は昔の公民館、今の文学館のところに町内会館があったのです。それから二転三転して、場所がないので、せりがや会館の地下へ町内会館が収まった経過があります。町田第二小学校、まだ先とはいいながら、蜂の巣校舎も大分古くなり、その後に建てた校舎も大分古くなつたので、建て替えの計画があることは非常にありがたいことで、逆に統廃合しないで地域に小学校が残ってくれることで、地域に子どもさんが通う学校があることは地域としても非常にありがたいことだと思っています。今後とも暫定利用について、また、いろいろご要望を出させていただけるのであればお願ひしたいと思いますので、今後ともよろしくお願ひいたします。

政策経営部長

今、何かお約束できることははないのですが、地域の方からの要望であれば、また個別にお話を聞かせていただく機会を設けたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。

第2部 市政全般に関する意見交換

市長からの市政報告

それでは、第2部、市政報告をさせていただいて、皆さん方からご意見をいただきたいと思います。

資料をお渡しさせていただいているが、さつき議論をいただいたことで2つぐらい、私のほうからコメントしたいと思います。

1つは、中心市街地の防犯です。町田新産業創造センターの中にアジラとい

う会社が入っていて、既存の防犯カメラで得られた情報をAIで解析するシステムを開発しています。どのようなシステムかというと、二つあります。一つは、人間の姿勢、つまり人の骨格情報を認識し、人が倒れた、転んだ等の異常行動や注意行動を分析して、リアルタイムで警備員室のアラートが鳴るシステムです。もう一つは、施設内的人数カウントや混雑状況、属性情報などの人流データをリアルタイムで解析し、施設の人の流れを「見える化」できるシステムとなります。この二つのシステムが2024年度と2025年度の2年連続で町田市トライアル発注認定商品に認定されており、今後、市で実験という形で活用を予定しています。もちろん、町の皆さんにも使っていただきたいと思っており、今考えているのは、町なかにある防犯カメラの映像をAIで分析し、どの時間にどんな輩が違反行為をしているか分かるようになればというものです。まだ警視庁はシステムを入れていませんが、もしやろうとすれば、将来的にそのシステムを入れることもできます。AIですから、かなりの精度があるそうですので、将来、町警とも相談して、試験的に導入できること良いかと思っています。私はアジラの開発に期待をしています。

もう一つ、せりがや会館の話がありましたが、町田第二小学校の建て替えは、計画はもう少し手前ですが、実際にできるのは14～15年先だと思います。ただ、今やっている南第一小学校の建て替え、統合ではなくやっているものとか、鶴川第四小学校、団地の中ですが、隈研吾さんが設計作業をしています。それから、旧南第二小学校は、成瀬小学校に変わりますが、その設計もいざれもコンセプトが地域活用型学校です。設計の段階から地域で使えるように今、設計しています。

どういうことかというと、日常的に使うことができる部屋もありますが、一定時間を過ぎると子どもは中に入れなくなる。外からは入れるというシステムで設計しています。そうすると、外から来た人は、教室の中には行かれないが、体育館とか特別教室に行かれるようになる。多分カードで認証するような形になると思います。そうすると、多目的ですから、会議のときには、そこを使えるというような使い方にそれぞれなると思います。今、そういうやり方で地域活用型学校の設計をしています。体育館等も避難施設として使えるように設計をしています。

そういう設計の思想ですから、10年、15年先ですが、町田第二小学校も同じパターンになります。多分使い勝手としては、せりがや会館側に少し拡張用地があれば、これは私が今考えたのですが、そこに体育館を持ってきたり、特別教室を持ってきたりして、シャッターが入って、ロックが入って、ある一定時間、教室のほうに行かれないようになります。義務教育で使っていない時間は、今度は自由に地域の人が使えるスペースに変わるという設計をすることになります。

今はもうほかではやっていますから、そういう意味では、暫定利用が終わっ

て、いざ学校として使おうとなれば、そういう使い方になりますので、例えば町内会の会合やイベント等に使うことが自由にできるようになるのではないかと思います。子どもたちのいる時間は行かれないと、いなくなれば、そういう使い方ができるということで、そういう使い方が地域活用型学校というコンセプトになって、一昨年から言っています。恐らくこの町内会館の問題も、そういった意味ではもっと広く、もっと使い勝手がよいものに変えられるのではないか。私がこの地球上にいるかどうか分からぬのですが、そういうことが実現できるのではないかと思っています。

ということで2件についてお話をさせていただきましたが、今日はたくさんありますので、飛ばし飛ばしで45分ぐらいまで参ります。

まずは、都立児童相談所が6月にスタートしました。都立八王子児童相談所が分割され、こちら側が都立町田児童相談所になったのが6月です。今は児童相談所の人と私どもの子ども家庭支援課の職員と一緒にケース会議、虐待やあざがある子どもをどうしようか、児童相談所ですから強制的に親と子を引き剥がすことまで含めて権限を持っていますので、市役所はそういう権限はないですが、児童相談所と一緒にどうするかという相談ができるように、もう既に合同会議を行っています。

そういう意味では、子どもの対応の仕方も幅が増えたかと思っています。今まで八王子からこちらへ来ていたのです。町田まで来るのに、いきなり残業になってしまいます。共稼ぎなり何なりのお父さん、お母さんが帰ってくるのは6時ぐらいですから、それからお子さんの育て方についてヒアリングをするのです。終わって7時半とか8時から、また八王子に帰るということを長年、八王子の児童相談所がやっていたのですが、今度は非常に早く30分もあれば行き来ができますので、そういう意味で、いわゆる子どもの育て方のところは大分楽になったと思います。

成瀬にこどもクラブができます。成瀬コミュニティセンターの庭の一部を使って工事をしています。来年3月にオープンすることになっています。

新たな学校づくりですが、私は、地域活用型学校に変えようという意味で言い方を変えていますが、4月から本町田ひなた小学校が新しく学校として統合しました。統合先は本町田東小学校になっていまして、今井谷戸に近いほうです。現在の学校の解体工事を今やっています。成瀬のほうも解体工事をやっているはずです。隈研吾さんが今設計をやっているのが鶴川第四小学校、将来の名前は鶴川中央小学校です。（仮称）鶴川東小学校は、現鶴川第二小学校ですが、改築設計を始めているところです。南第一小学校は改築設計を始めています。

小・中学校児童生徒の給食費がただになりました。これは東京都から、ただにする費用の8分の7を出してもらって、町田市は貧乏ですから、8分の1を出して無償化しています。ただし、神奈川県知事や千葉県知事、埼玉県知事が

怒っています。そちらのほうから東京に勤めているから、そういう情報がしつかり入って、金に飽かせて何をやっているのだ、俺たちができないことをやるのではないと言って怒っています。怒っていますが、私は東京都の市役所ですから、怒っていなくてよかったですと思っていますが、ほかの3県の知事は怒っています。

中学校給食センターは、ついに今日から南地区の学校5校ですが、南の中学校とか成瀬の中学校とか、そういったところも全員給食が始まっています。この間、2回ほど試食したんですが、温かくて非常においしくて、しかもただですから、こんないい話はなくて、最近は学童保育クラブにも夏休みに昼を出せとか言われて、えつ、そんなど。でも、ちょっと負けて幾つかの学童保育クラブで給食センターから夏休みに弁当を出している。皆さん喜んでいますので、1つで止まらなくて、あちこち夏休みもみんな給食があるということになるかもしれません。

高齢者（特別養護老人施設）ですが、申込み後1年未満入所が15年前だと45%、今は90数%、上がったり下がったりしていますけれども、95%前後で推移しています。申し込んだら半年ぐらいで入れるようになっています。ただし、立川から東の地域は、こういうことはありません。青梅とか、そちらのほうは私ども町田と同じようにすぐ入れますが、立川から東は2年、3年待つのは当たり前。ただし、東京に行くと、2年待っても30年待っても入れませんから、東京の場合は茨城、栃木、群馬のほうに大体行っています。場合によつては、山形とか秋田のほうにおじいちゃん、おばあちゃんが引っ越すというか、ホームに入るというのは23区の場合は普通です。ですから、23区の場合は高齢者の介護というのはほとんど物すごく逼迫しているというか、介護難民というのがあります。

それが一つと、特別養護老人ホームはもちろん近くには入れないということで、ホームに入る前に付き合っていた男の友達が訪ねてきてくれるのがありがたいというのが知り合いのホームに入った男の人の感想です。群馬、栃木までそうそう行かれませんから、ましてや秋田まで行くのでは大変だから、ホームに入ったって昔の仲間に会いたいなというのが入った人の心情ですから、そこは実は町田市だけであります。東京の場合は、北関東に行ってもらうということになっています。

昨日、今日、新聞に出ていますが、火葬場が逼迫していまして、非常に高い10何万円とか、そんなに取るのという状況です。町田の場合は南多摩斎場へ行けばただなんですが、23区は非常に厳しい状況になっています。ですから、生産とか産業にはほとんど特化した町なのです。住んでいる人の中で、そこで働いたり、ITに勤めたりではない人とか、特別養護老人ホームの人とか介護になった場合には、23区の場合は、そういう機能はなかなか成立しないので、あそこに暮らすというのはもう難しいですね。そういう意味で23区は特別な

ところ、亡くなった後まで高齢者のところはサービスがほとんどできないエリアになっているということです。

次に、町田木曽山崎パラアリーナ、2028年10月ぐらいになると思いますが、3年後にオープンする予定で進めています。これは日本で2番目のパラアスリート優先の体育館です。一番の問題は練習場が取れない。あと、これも最近減ったと思うのですが、車椅子の場合にストップしたり、いろいろなことがあって床に傷がついたり、タイヤの痕がついたり、パラバスケットとかパララグビー、パラバドミントン等は急激にストップする、壁に当たる等があってなかなか貸してくれないということです。私どもは、そういうものの整備を今進めています。

今度、小山町にある小山小学校で車椅子を使った運動会をやります。実は車椅子を使った運動会は、普通の車椅子ではすぐ転んでしまうのでできないです。ハの字になっているタイヤなのです。前後に倒れたりしないような設計になっている車椅子があって、それを日本財団から10台寄附していただいたので、それを使ってやります。日本財団は、笹川良一さんがやって、競艇をやっている財団なのですけれども、競艇で結構もうけているのではないかと思うのですけれども、そこから車椅子を寄贈してもらって、その椅子を使って、多分車椅子運動会をやるのは国内で3番目ぐらいだと思います。こちらは体育館ですが、今、整備をしようとしています。

(仮称)国際工芸美術館その他は、そこに書いてあるとおりのスケジュールで既にやっています。今の時代、入札不調が多くて、エレベーターもこの間、入札不調になったぐらいですから、なかなか進まないのですが、現在のところでは、この日程でやることになっています。この間、小金井の市長が隣にいたから聞いたら、市役所は2回目の入札参加者ゼロ、競争になる前に誰も手を挙げないという状態らしいです。

都心のマンションは外国資本、外からの資金が入ってきてどんどん値上がりしているのです。そうすると、そっちのほうが建設業はいいらしいのです。そっちは人が行くのです。役所は面倒なことを言うとか、いろいろあるのかもしれません、公共の建築のほうは不調続きです。町田のほうも結構不調が続いているのは、都心部の新築は1部屋1億円以上ですから、それがまだ上がっているものだから、開発のデベロッパーはそちらに力を入れています。建設業も昨年の4月から、運転士と同じように残業規定が入りましたので、人手が足りなくなっているところへ都心のマンションの建設ラッシュが重なっていて、なかなか業者がつかまらない。不調というのは、お金の問題より人手がないのだというのが一番大きな要素だと言ってきております。

最後に、これが一番大事なのですが、容器包装プラスチックの分別収集が年明け4月からスタートいたします。町内会の皆さんには、聞かれたら、やるから協力しろと言っておいてください。協力しない人は住民税が2倍になると

か、そういううそは言ってもしようがないのですが、とにかく4月から始まります。これで約1万トン、CO₂の排出ガスを減らす。プラスチックは資源になりますので、私どもの資源化率、三多摩26市で25位なのです。下から2番目なので、これを脱出して1桁ぐらいまで持つていこうというのが来年4月であります。横浜線の南側はもうやっているのです。横浜線の南側はやっているのですが、それだと5分の1ぐらいしかやっていないのです。ですから、全域にやることになりました。

ただし、資源化の施設がまだできていません。民間のプラスチックの成形、四角く1m角の立方体を作るところが要るのですが、川崎のほうへ持つていく。輸送費がかかるのと、そっちへ委託するとダブルで、市の自前の施設がまだ五、六年かかるので、それまでは非常にたくさんのお金をかけて、プラスチックの分別をすることになりました。あと7年ぐらいは、お金的にも我慢ですね。週1回収集しますので、袋の値段は半額ですので、なるべくそちらへ入れてください。生ごみも入れてしまうなんてことは考えない。プラスチックは、そっちへ分別すれば黄色い袋に入れるよう安く処理できますので、そちらへ入れていただきたい。4月1日です。2月から3月ぐらいにテスト的に全戸に無料でピンクの袋を配ると言っていましたので、その節はよろしくお願ひします。

《質疑》

原町田五丁目町内会

私は入院していたものですから、前のときに聞けなかったのですが、夏に孫が小学校から帰るのに30分ぐらい歩くのです。日傘を差してはだめですかと言ったら、危ないからだめですと言うのです。雨の日はどうなるのかという話です。大人でも今は日傘を差して歩きますね。もう時期は過ぎてしましましたが、子どもですから、汗だくで帰るのは30分かかるのに大変ではないですか。日傘を差して帰るぐらいだめなのかなと思っていたので、その辺、考えていただけないですか。南一小から小川のほうまで歩いて帰るので。

市民部長

今日は学校教育部長はいないので、お答えというわけではありませんが、知っている範囲で言いますと、日傘を差して通学している子も見かけますので、一律ダメということではないのかなと思います。

道路部長

この夏、通学路の街路樹を切った際に、児童の暑さ対策に関する質問に対し、学校教育部が熱中症対策で日傘とか涼しくする方法について学校からちゃんと指導しますというお話をあったので、絶対だめということはなかった

と思います。

市民部長

確かに暑いので、暑さへの対処は必要かと思います。

原町田五丁目町内会

もう1点、さっきの道路のところで、この前も言ったのですが、広い通り、日曜日になるとハザードをつけながらずっと止まっているのです。30分ぐらい永遠と止まっているのです。議員にも言ったのですが、乗っている分にはできないと言われたので、それを何とかできないものかということ。

あそこは営業車は止ますが、平気で障がい者の人を乗せてあそこに止まっているのです。あれはいいのかどうかというところもお聞きしたい。あと、あそこは白いバッテンになっていますね。あそこに普通の車が止まっています。それもいいのか。外国に行くと、だめなところは赤とか、みんな白ではないですか。赤になると、何となくだめなのかと思うので、そういう色づけというのはできないのかなとは思っています。迷惑駐車だと書いているけれども、乗っていればいいのだろうという感覚の人がいますので、そういうところをもう少し何とか。警察とやりますという回答は得たのですが、日曜日になると本当に止まっています。見ると多摩ナンバーではないのです。ほかから来た人です。そこをもう少し何とかできないのかなと思っているので、お願いしたいと思います。よろしくお願ひします。

道路部長

ご意見のとおり、私たちも何度か目撃もしています。お声がけしてもいたちごっこで、夜になると完全に止めてお出かけしてしまうような人もいるということで、警察にもお願ひしていますし、荷さばきに使われている方もいらっしゃるので、封鎖してしまうわけにもいかない状況です。パトロールや啓発は引き続き対策をしていきたいと思っております。

地区連合会長

最後に、プラスチック回収が始まるというお話がありました。最近、モバイルバッテリーとかリチウムイオン電池の火災が取り沙汰されていますが、市民に啓発して注意してくださいと言うしか対策はないのでしょうか。何か考えていることがあるのでしょうか。

町田市長

宣伝が足りないかもしれません、2022年の7月から1か月に2回ぐらい分別収集をしています。隣の相模原市は月1回で、今月からやると思いまし

た。充電式電池内蔵型小型家電は去年8月から回収をしていますので、宣伝が足りないかと思っています。収集車が1台燃えてしまったり、この間は特急電車が止まりました。

防災安全部長

一昨日、町田市のパッカー車に積んだごみから発煙発火がありました。約40リットルのごみが焦げたということで、高ヶ坂六丁目から119番が入っています。

町田市長

この間、成田エクスプレスが止まってしまいましたね。韓国では飛行機が1機バッテリーで燃えました。空港に緊急着陸して燃えてしまって、結局、全員避難できたのですが、飛行機が1機全部燃えてしまいました。ですから、とにかく何とか宣伝をして、会長さんがいらっしゃるので、分別をしていますと、そこをよろしくお願ひしたいと思います。

原町田五丁目町内会

モバイルバッテリーというのによくあるのですが、みんなかわいそうなので、どこの製品か言わないですね。そういう説明はないですね。言っては悪いけれども、あっちの国ほうのモバイルバッテリーが多いので、日本製はどうなのか。どこの国の製品かというものはないので、モバイルばかり悪いと言っていると、どうなのかなという気はします。どこの国というのは全然出ていないでしょう。だから、その辺のところをやらないと、日本製は1個もありませんと言ったら、日本製のモバイルバッテリーはいいわけですから、その辺のところを分けていただくというのも必要かなと思っているのですが、モバイルというと全部悪くなってしまうと思うのです。

防災安全部長

モバイルバッテリーは、衝撃を与えるとそういったことがあります。だから、通常に使うときは、外国だ日本だというのではなく、何かの衝撃を与えて、その後に充電すると、そこからスパークする可能性が十分高いというのは言っていました。

経済観光部長

ごみ収集車などの火災において、燃やせないごみの袋の中にモバイルバッテリーが含まれていても、消防署ではモバイルバッテリーが原因だと特定はされません。また、燃えてしまうと、どこの国の製品かも分からなくなってしまいます。

原町田五丁目町内会

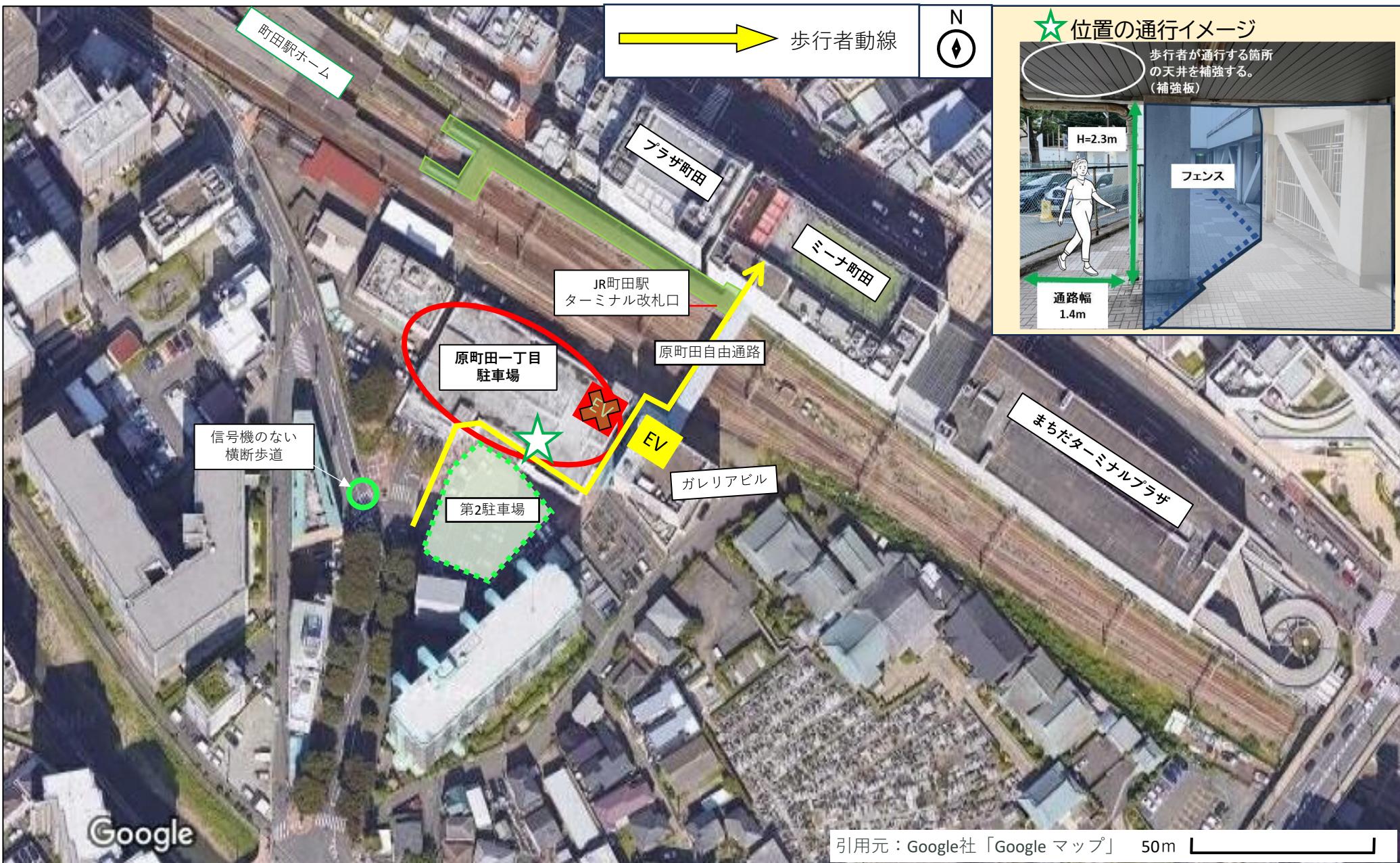
モバイルバッテリーばかりという気はします。

○閉会の挨拶（町田第一地区町内会・自治会連合会副会長）

以上

議題1 資料

原町田一丁目駐車場周辺位置図



議題3 中心市街地と芹ヶ谷公園の回遊性について 投影資料1

